



起業3年目までの
必要な知識が
10時間で学べる
オウンドビジネス大百科

オウンドビジネスの地図
～ 個人投資家編 ～

Part 4



玉井：そう。で、じゃあ今度「その前提だったら詐欺って実はないの？」ってことになるんやけど、めちゃめちゃあって(笑) その辺ね、引っかからないようにするにも、どんな業界なのかってところね。で、それは伊藤ちゃん詳しいからちょっと話してほしいんやけど。

伊藤　：そうっすね。

玉井　：って言ったら伊藤ちゃんが詐欺師みたいやけど(笑)

伊藤　：いやいや、違いますよ(笑)

玉井　：違うんやね(笑)

伊藤　：一応、ちゃんと言っておくと、詳しいのは、あのソーシャルとは別に、まあこの活動とは別に、共同で会社やってる人がいて、その人が過去に仮想通貨のICO成功させた人なんで、さすがに名前は言えないですけど。

玉井　：あ、それはICO詐欺じゃなくて、真っ当なICOってことね。

伊藤　：そうです。シンプルなICOですね。で、あとは結構ぼく、ビジネスの勉強として怪しいセミナーとかも潜入し

たりするの好きなんで、そこで実際に闇とかエグい部分を見てきたし、これまで周りの人から相談されてきたんで。

玉井　：　そうそう。だから、別に伊藤ちゃんがマルチとか詐欺とかの人ではないし周りにそんな悪い人いるわけでもないですよっていうね。

伊藤　：　そうですね(笑) それが言いたかっただけです(笑) で、まあそれはいいとして、今ICOって言いましたけど、ICO詐欺、つまりICOするって言うっていい詐欺ですね、とかが一番一般的で。で、あとははっきりと詐欺なのか、詐欺まがいなのかってところの線引きって結構難しいんで。だから、一旦それは置いとくとして、ぼくらにとって、特に初心者の人とかあまり投資の知識に明るくない人にとって、こういうものには引かからないようにしたいよねっていうくりでいうと。

玉井　：　そうやね、その辺絡み合ってるから、シンプルなICO詐欺もあれば、ちゃんと上場はしたからICO詐欺ではないけどちょっと、みたいなやつもあれば。それにマルチ組み合わせてとか、でもマルチ自体は悪いわけじゃないんやけどやり方がちょっと、とか(笑)

伊藤　：　ややこしですけどね(笑) まあなのでその辺はざっくりとさせた上で、代表的なやつで言ったら、ICO詐欺、仮想通貨マルチ、ハイプとかの投資案件、の3つかなとおもうんですけど、まあこれらみんな似たようなもんなんです

よね。まず、仮想通貨マルチもだいたいのICO詐欺も、投資案件を売っている人の稼ぎ方も全部古典的なもので、言っちゃえば、投資で儲けているんじゃないくて、紹介料で儲けているんですよね。で、その上で、中身が、MLM、ネットワークビジネスと同じようなものなのか、普通にガチの詐欺まがい、もしくは詐欺かっていう。割とはっきりいっちゃいますけど(笑)

玉井　：悪意あるかないかってことね。

伊藤　：そうです。だから、もちろん、仮想通貨自体が詐欺や！ってゆってるわけじゃなくて、ってその次元の話はもう言わなくてもいいかなと思いますけど。だから、世の中に新しく登場した仮想通貨っていうものを使って、悪いこと企んでる人がいるよって話で。その人達は、その前は別の何か、仮想通貨以外の何かを使って悪いことやってた人なわけで、だから詐欺のツールとして使われてしまっているって意味では仮想通貨も被害者というか。

玉井　：うんうん。

伊藤：で、「仮想通貨ってそもそも何ですか？」って前提から話し始めると、さすがに時間かかりすぎるので省きますけど。まあ、でもビットコインとかイーサリアムとか有名なやつは聞いたことあると思うんで。で、そういう有名なものって上場してるんですよね、仮想通貨取引所に。つまり、上場してないものっていうのもいっぱいあるわけです

よね。聞いたことないコインとか入れたら数え切れなくて
らいあるわけですよ。んで、ICO詐欺ってというのは何かって
言うと、まずICOって株でいうところのIPOであって、株式
会社が東証一部とかマザーズとかに上場することをIPOって
言うんですけど、ICOってというのは仮想通貨が上場すること
なんですよ。

玉井　：うんうん。

伊藤　：で、例えば株だったら、未上場の株、未公開株の
段階から持ってて、それが上場した時に結果何十倍とか何
百倍とか、アメリカとかでは1万倍に跳ね上がるってもの
もあるくらいで。だからみんな未上場の状態で買えるなら
その段階で買いたいってというのがもちろんあって。

玉井　：昔からあってね。

伊藤　：はい。だからこの未公開株の詐欺ってのは昔から
あって、それが仮想通貨に変わったただけなんですけど、

やり口は簡単で、最初っから上場する気なんてないのに、
上場間近です！何十倍になりますよ！って言えばいいわけ
で。まあ、事業計画とか、そんなん素人分かるわけないん
で、だから、適当にいかにもそのコインにすごい良い未来
があるかのように色んな切り口で説得して、絶対儲かります
よ！って言えば、しかもそれがさぞ貴重な情報かのように、
「こんなん普通知らないですよ」って言われたら、やっ
ぱり買う人はいるわけで。で、そうやって集金だけして、

実際に仮想通貨のコインは渡すけど、そんなもん上場しなかったらゴミなんで、電子ゴミなんで。そうやって日本円とか、ドルでも良いですけど、集金だけしてトンヅラするっていうのがICO詐欺ですね。

玉井　：　そうそう。だから、上場決まってるんです！するんです！ってウソついて集金してるところが詐欺であって。だから上場したけど値段が100分の1になった！みたいなのはICO詐欺じゃないもんね。

伊藤　：　そうっすね、セールスにおいて、そのセールストークにおいて別にウソついてなかったらそれは単純に買った人の投資判断が間違ってたってことにもなるので。

玉井　：　そうそう。

伊藤　：　で、まあ、そんなICO詐欺以外にも、詐欺かどうかは置いといても引っかけられないようにしたいものってのはたくさんあって。仮想通貨とMLMとかハイプ、ポンジスキームを絡めたようなものが流行ったり、仮想通貨だけじゃなくて今後も色々な金融商品と絡めてやっていく可能性あって。

玉井　：　あー、その人らがね。

伊藤　：　はい。その辺も言うておくと。大体あの一、よくわからん兄ちゃんが勧誘してくるやつなんですけど、例えば、1回知り合いがそういうのに勧誘されてたことがあっ

て、で、ちょっと一緒に話聞いて見極めてほしいって頼まれたことがあったんですよね。そんときの流れを言うと、まず「この仮想通貨を買ってくれたら、会員になれますよ。権利収入として配当をもらえるようになりますよ！」ってゆうて。ほんで、「この仮想通貨を紹介したら、タイトルがあがって、それによって配当がもらえる%も上がっていくよ！」みたいな。それで、さらに「上場した時はめっちゃお金儲かるよ！BITCOINにおきかわるCOINなんだ！」みたいな(笑) 極めつけは、「この通貨は、アメリカの伝説の資産家、なんちゃらロジャーさんが作ったやつで、日本に上陸したばかりなので今のうちに入っておいた方がいいです！」っていう、その言われた名前英語で検索しても1ミリもでてこなかったですけど(笑)

玉井　：確かになんか海外よく使うよね。

伊藤　：よく使いますね。

玉井：　どこどこの国が認めてます！みたいなやつとかさ。

伊藤　：そうっすね(笑) で、このロジャーさんのやつの場合にはホワイトペーパーすらなくて、いやロジャーさんICOする気ないやんっていう(笑)

玉井　：あー普通にICO詐欺かつマルチっていうパターンか。

伊藤　：そうですね。まあ、正直、お金を集める為に頑張ってストーリー考えるなあ、って感じでしたね。なのでこれはもう仮想通貨とはまじで関係ないただのマルチで、でも上場するってウソついてるっぽいから詐欺やるなあって感じですよ。あとは、おんなじような手口で、投資案件とか運用の話とかもあって、日本円とかドルとかで、それがハイプって呼ばれるやつで。これは単純にむっちゃ利回りの良い商品を紹介してくるってパターンなんですけど、大体日利1%以上のもので、日利1%って、100万入れてたら1年後には複利で3800万くらいになってる計算なんで、まあほんとだったらめっちゃ嬉しいんですけど(笑)

玉井　：そうやな(笑)

伊藤　：基本的に、ハイプは大体どっかで破綻するので。で、もちろん、破綻した時は、お金なんてかえってこないですよ。だから、高配当を謳って資金を集めて、その資金で運用して、また集めて、ってやっていくと、どっかできつくたって。で、「もうやばい！」この線引きで、やめとこってラインがあるんですよ。そこにいくと、そのまま会社ごと高飛びするみたいなパターンですね。で、ハイプ自体は法律上問題ないんですけど、もっとエグいのは、ポンジスキームっていうのがあってこれははっきりと詐欺なんですけど、ハイプの場合って、やばいハイリターンハイリスクですけど、集めたお金ちゃんと運用してはいたりするんですけど、ポンジスキームは、そもそも運用すらしてないっていう(笑) どんなものかって言うと、まず最初投資家

に、資産運用するからお金投資して欲しいって声かけるわけですね。

玉井　：ファンドを装うわけね。

伊藤　：そうです、それも日利1～2%とか言って(笑) まあ実際には運用しないんですけど。で、それをどんどん増やしていく。で、どういう風に増やすかってゆえば、例えば最初の人をAさんやとしたら、2番目の人をBさんとして。ってもう勘良い人ならわかったかもですけど、Aさんの人には、配当として、Bさんから預かったお金を配当として渡すんですよ。で、ちゃんとAさんはそれを画面上だけじゃなくて実際に引き出せるわけですよ。

玉井　：Aさんは、ほんまに運用して増やして、配当されたんやって思うわけね。

伊藤　：そうですそうです。で、その上でAさんに、「誰か紹介してくれたら紹介料も渡しますよ！」みたいなことを言ったら、Aさんからしたら、日利1~2%とかで実際お金も引き出せてるから「やばい案件みつけた！」ってなって。で、AさんがそうやってどんどんCさん、Dさんって捕まえていく。で、BさんにもCさんにもさっき同じ理屈で配当としてお金を渡して、これを拡散させていけば、えげつない勢いでお金が集まる。って流れですね。で、実は引き出せるのは最初の何%かだけで、あとは配当引き出せずに、PCとかの画面上だけお金増えてるように見せかけて、最終的に

は、MAXお金集まったなってなったら、ポンジスキームをやってる人がトズラするっていう。で、こうやって他人のお金を運用する。つまりファンド作るのってそもそも金融庁の許可がいるんで、なのでこういう話が来たら、その登録番号教えてくれって言ったらいいいとか(笑)あとは、まあそんな意地悪しなくても、金融商品取引業者の一覧って金融庁のサイトに載ってるんで、普通に確認したい場合はそれ調べると予防線になるかもしれないですね。

玉井　：で、こういう類のもの、もっといって特殊詐欺とかっていうのもやけど、ほんとにこうやって説明したら「あーはいはい」ってなると思うんやけど、彼らはプロやから、実際目の前にしたときに意外と引っかかる人多いから、ってこんな事言うとなんか詐欺撲滅みたいな音声なってるけど(笑)

伊藤　：たしかに(笑)